2022 年度　第 5 回理事会　議事録　2022.9.22

日時：2022 年 9 月 22 日（木）19：00～21：46
場所：オンライン開催のため各自自宅・職場
出席理事：神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、金山桂(副会長)、吉本雅一(事務局長)、玖島弘規、佐々木秀一、奥原孝幸、佐藤隼、遠藤陵晃、野本義則、神田崇央、佐藤範明、木村修介、望月強併、澤口勇、西川航平(16 名)
欠席理事：戸塚香代子、大郷理事(冒頭のみ）（2 名）
出席監事：錠内広之
欠席監事：野々垣睦美

Ⅰ.会長より挨拶

新型コロナウィルス感染症流行は少しずつ落ち着いてきましたが未だ重症者数は多く予断を許さない状況は続いています。今後オミクロン株へ対応するワクチン接種などの状況によって動向は変化してくると思われます。11 月に予定している理事会を含めて対面式イベントの開催については状況をみて判断していきます。本日もよろしくお願い致します。

Ⅱ.報告事項について(トピックス)

【トピックス】

1．第 19 回神奈川県作業療法学会　大郷実行委員長より

第 19 回神奈川県作業療法学会の企画案、会場の予約方法、予算案の詳細について説明。仮テーマは「ダイバーシティ＆インクルージョン～それぞれの個を尊重し、認め合い、良いところを活かすこと～」となった。オンラインと会場のハイブリット開催を予定。内容は学会長講演、市民講座、ビギナー、ビギナー発表、ワークショップ、指定演題、書籍販売、機器展示等を検討している。開催時期は会場の予約日程によって変動するが 2023 年 10 月から 12 月を予定する。オンライン開催については配信支援業者に委託する予定。会場については茅ヶ崎市民文化会館を候補として進めて抽選に応募する。もし困難で合った場合の第 2 候補としては藤沢市民会館を検討している。

＜質問等＞

○万が一キャンセルする場合についてはそれに関する規定は確認し共有してほしい

→後日理事会に共有する

Ⅲ.審議事項について

1．後援名義使用について(事務局)

日本転倒予防学会第 9 回学術集会の後援名義使用について　→承認

2．最低賃金引き上げに伴う事務局員の給与支給額変更について(財務部)　→承認

＜意見交換＞

○試算した合計時間と増加額は 3 名分の総額か

→その通り

○事務員の給与の相場についてはどの程度なのか

→詳細な相場については調査する　他の団体の支給額なども可能であれば調査する

→今後も給与の改定は続くので根拠を示して最低賃金＋α など規定できると良いと考える

→当会の財務状況との照会は必要だが今後も長期雇用できるように規程を整えると良い

3．総会規則の改訂について(規約委員会) →承認

修正事案に係る項目である社員提案権について説明。議題提案権、議案提案権、議案要領の通知請求権について理解を深めた。その上で改定の根拠と内容を示し審議した。承認され社員総会へ議案を提出する。

＜意見交換＞

○動議(修正動議)についても明確となった。その方法の詳細も今回の提案に含まれており適正と理解した。

○今年度の定款・規程修正の内容と量を鑑みると理事の役割の範疇を超えてきていると感じる。役割として理事がリードし検討することは必要だが、専門家の適切な協力も必要だと感じた。

→委員会の予算として計上している委託料を使用して必要に応じて専門家に相談する計画としている。

○社員総会の日程については代議員に事前に伝えておく必要性がある

→今年度も早期に日程は伝えている。今後は議案書の送付についても早期に送付できるよう各部署の協力を依頼する。

Ⅳ.報告事項について(各部署・理事)

【各部署】

1．事務局

(1)Zoom ミーティング予約ならびにイベント・会議等の予定調整についての再周知

毎月確認し更新し最新情報を配信中。本件はイベント等の内容・日程の共有調整を含んでいるため県士会の Zoom アカウントを使用しなくても必ず各部署共有をする。

(2)X ドライブ運用について

ダウンロードのみの運用。アップロードはデータが上書きされてしまうため禁止。

使用範囲を拡大。種々のマニュアルや理事会等の資料などを保管。必要時に閲覧ダウンロードが可能。

(3)研修会マニュアル説明会について

事務局、学術部、財務部の 3 部署共同で年 1 回説明会を実施する予定で調整している。

2．財務部

(1) 中間監査について

10 月 8 日(土)に実施予定。上半期事業が終了しだい順次書類の発送を依頼。10 月 5 日書類必着締め切り。半期を超えた財務処理が無いように対応してください。

(2)研究助成事業用会計マニュアルについて

研究助成事業用の会計マニュアルを作成。今年度の研究助成から使用する。

3．福利部

(1)施設見学会について

8 月 18 日、23 日、24 日開催。各 1 名計 3 名の高校生が参加。各施設の作業療法士から内容、特徴などについて説明があり質疑応答も行った。可能な範囲での臨床場面のオンライン見学も実施した。

今後のイベント開催広報について県教育委員会から助言をいただいた。政令指定都市を除く市町村には県教育委員会より周知できるため今後連携していく。来期に繋がるようアンケートも実施。

(2)新入会員オリエンテーションについて

各部署の資料を受けて作成を行いホームページにて動画を公開する予定。

4．制度対策部

(1)安否確認システム運用訓練について

9 月 25 日（日）県士会安否確認システム訓練及び理事役員安否確認訓練を実施する。運営マニュアルの再度確認を依頼。会員のおよそ 1 割、200 名（昨年度 49 名）参加を目標、啓発の協力を引き続き依頼。

5．規約委員会

3 年前より各部委員会のマニュアルを収集している。理事会等で共有されたマニュアルに関しては適宜保存・保管している。どのようなものがマニュアルに当たるのか例を示すので、各部署で作成された場合はぜひ規約委員会に共有をいただきたい。

6．ウェブサイト管理委員会

(1)不審メールについて

県士会アカウントのメール宛に不特定多数を狙った不審なメールが届いている。
宛先の分からないメールや怪しいメールを受信しても開封せず削除の対応を依頼。
またアカウントが複雑ではないものについては対象になりやすいので今後も注意が必要。

7．学会評議委員会

(1)第 5 回神奈川県臨床作業療法大会について　佐藤隼実行委員長、神保大会長より

進捗状況を報告。拠点は TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜西口を使用する。テクニカルサポートも受ける予定。現在申し込み者は 7 名となっている。周囲の会員への参加の促しを依頼する。広報手段はチラシを 2500 枚会員へ配布し、500 枚公共施設に配架していただく予定。
オンライン開催は参加者が伸びにくい傾向があるためぜひ周囲の皆さんへ参加を呼び掛けてほしい。
一般県民向けの申し込み方法は Peatix だけでなく他の方法も検討し、市民向けのチラシも作成予定。

8．認知症対策委員会

(1)認知症アップデート研修会

10 月 5 日（水）19 時 30 分から開催　講師　森山氏・弘中氏

(2)認知症に関する士会活動報告について

日本作業療法協会からアルツハイマーデイにあわせて、「認知症に関する士会活動報告」の依頼あり。
8 月 31 日に内容をまとめ提出。認知症啓発事業(RUN 伴＋三浦半島)、家族の会との連携、研修会について、新型コロナウィルス感染症の影響について報告した。

9．生活行為向上マネジメント委員会

(1)研修会(9 月 3 日開催)報告

参加者計 32 名(正会員 29 名、非会員 3 名：静岡県、東京都、千葉県)。アンケートではオンラインでの開催のためグループディスカッションの方法や操作等への質問などが多く聞かれた。今回初めて Peatix を使用したが負担が少なく円滑に使用できた。今後も当会として活用を継続するメリットを強く感じた。
次回の研修会は 2 月を予定している。

【理事】

1．田中副会長・神保会長

(1)40 周年記念プロジェクトチームより

40 周年記念事業プロジェクト進捗状況について報告。12 月をもって本事業は終了する予定。Zoom で使用できる背景もダウンロードできるようにホームページに掲載したのでぜひ周囲に使用を促してほしい。また世界アルツハイマーデイに合わせてロゴマークのオレンジバージョンも掲載した。併せて使用のほどお願いする。記念誌はまもなく完成する予定。チャレンジ動画に関しても順次作業を進めている。

(2)渉外報告　日本作業療法士会 47 委員会について

2023 年役員改選と組織改編、2024 年医療介護福祉トリプル改訂(特に訪問看護ステーションにおける看護・リハビリテーション職の割合についての課題対応が重要)、アジアパシフィック学会（北海道)、総合臨床実習の内容の検討、2026 年度日本作業療法士協会 60 周年について、教育体系の見直し、第 4 次 5 か年戦略（地域共生社会の構築)、組織力強化(入会年間 500 名増を目指す)、2023 年度重点活動項目

について、ブロック情報交換、全国作業療法士連携協議会（よんぱち）規程案について、国際部 APOTC について、災害対策室シミュレーション訓練について、地域保健総合推進事業の調査依頼について、LGBT＋ガイドライン作成のための報告とアンケート調査広報について、謝金規程改定に関する依頼について等に関して報告。

＜質疑応答等＞

〇謝金規程改定に関する協力について

→当会はすでに情報提供の協力を実施

〇LGBT＋ガイドライン作成について

→対象は国民、県民、市民に向けた内容となる予定。加えて養成校の学生向けも想定している。

〇神保会長より

小川かつみ氏の参議院選挙落選を受けて、リハビリテーション職能団体では危機感を感じている。
各団体の組織力向上と団結力の結集がますます重要となる。各協会が連携協働して政治力を発揮し
今後の制度の改定や職域の確保、専門性の活用などに影響力を発揮していくことが望まれる。
また質の向上は言うまでもなく重要であり引き続き教育に注力していくことが職能団体としての使命。

2．金山副会長

(1) 研修会ワーキンググループ報告

7 月 13 日開催。マニュアル管理とウェビナーについて検討。研修会開催にあたり相互交流を伴う研修もあり、ウェビナーを使用することで研修を行いにくくなるという意見が多数であった。

→公益法人化対策委員会では公開講座を予定している。ウェビナーの使用を検討している。今後使用に関する提案相談を行う予定。

(2)選挙ワーキンググループ報告

8 月 17 日開催。代議員選挙について振り返りを行い、マニュアルの修正を開始する。完成は 10 月を予定している。今年度実施予定の役員選挙についても確認し、選挙管理委員会の発足から開始する。

Ⅴ.確認・検討事項

1．対外広報活動について

海老名市で開催される「海老名おでんナイト」への広報部対外広報班の参加を予定している。当会主催ではなく例年参加していないイベントであり対面式のため、理事会の意見を伺い参加に関して確認を行った。

＜確認・意見交換等＞

〇イベントの開催目的と当会の広報の目的が合致しているのか。

→飲食に関するイベントであるが飲食に関わる自助具の紹介、体験ブースの出展を計画している。

〇主催者の感染予防対策に関しての詳細を示してほしい。

〇対外広報は重要であるため積極的には進めてほしい。予防対策も大切ではあるが罹患した場合の対策も検討しておく必要があるのではないか。

〇今後のイベント参加を睨んで対外広報事業として参加する基準を広報部でも検討しておくと良いのではないか。一部地域に限られないように検討してほしい。広報戦略を立てたうえで参加を検討してほしい。

→広報部内でも検討する。

〇神奈川県介護フェアについては例年開催し参加しているイベントであり、多団体との協働事業である。
神奈川県主催であり目的、感染予防対策、飲食はなしということを踏まえて予定通り出展する。

【結論】

主催者側のイベントの概要と目的を明確に提示し、感染予防対策を理事会で確認したうえでイベントへの参加を改めて検討する。広報部より主催者と連携し 10 月 15 日までに理事会へ報告確認する。

2．ホームページ掲載内容について

掲載情報の一部に個人的なブログや研修会案内などへ誘導するリンクが存在している。個人的な利益に繋がるもしくは繋がることが懸念される内容を掲載することは当会として望ましいのかを確認する。本件については個人によって感じ方や考え方大きく異なるのではないかと感じるため各理事の意見を伺う。

＜意見交換等＞

○ウェブサイト管理委員会規定として県士会ホームページ記事掲載基準はホームページに掲載されている。理事会または事務局長が許可したものとある。理事会の意見をぜひ伺いたい。担当理事としては今回のような内容は掲載をしない方が良いと感じている。

○個人の利益に繋がりかねない情報のリンクを掲載することはやはり掲載を控えた方が良いと感じる。

○当会のホームページは公益な広報であるため個人運営のブログを掲載していること自体が問題なのではないか。

○対象とされている会員の今までの活動に関しては感謝している。ホームページへの掲載をしないにしてもその他のイベント等で協力してもらえるように配慮してもいいのではないか。

○教育を目的としている点は非常に有意義ではあるが個人名や著書に関しての情報への誘導の掲載は難しい。研修会情報の掲載であれば正規の方法で申込み掲載を行うようにしてほしい。

○ブログ掲載に関してすべてを精査する必要性があるのではないか。

＜結論＞

個人の利益に繋がる情報の掲載は控える。当会ホームページブログ掲載について精査し、他県士会の対応等についても情報収集を行う。その上で掲載基準と照らし合わせて該当する掲載者には連絡説明をする。

3．組織改編について

神保会長より具体的な組織図と今後のスケジュール、組織改編の骨子について説明。10 月の理事会での意見交換検討を予定。事前にメールも活用し理事の意見質問を募る。

Ⅵ.その他　連絡事項等

1．議事録署名人について

吉本事務局長から指名があり決定する。神保会長、錠内監事、佐藤隼理事、西川理事。

2．組織図について

40 周年記念誌ならびにホームページには現規程に則った組織図を掲載する。

3．公益法人化対策委員会企画の広報協力について

後日チラシを共有するので周囲への周知広報の協力を行う

4．公式 LINE アカウントについて

現在登録者は 200 名となった。月に配信できる件数は 5 件までとなっている。掲載したい内容がある場合は引き続き佐藤隼、佐藤範明理事に相談依頼する。

5．監事より

(1)錠内監事

本日もお疲れさまでした。先日第 56 回日本作業療法学会に参加してきました。現地で直接お互いに顔を合わせて交流や意見交換が行えることは非常に有益に感じました。今後当会でも感染予防対策を適正に行いながら、対面でのイベント等の開催方法を検討して下さい。よろしくお願いします。

議事録署名人	議長：	神保　武則	印
	理事：	佐藤　隼	印
	理事：	西川　航平	印
	監事：	錠内　広之	印

次回理事会日程：2022 年 10 月 19 日(水)19 時より開催予定